

## 別紙1 長岡市ネットワーク概略図及び自動暗号化イメージ

※本資料記載の情報はセキュリティ保護の関係上、実際の構成や利用状況を簡略化して記載している点に留意すること。

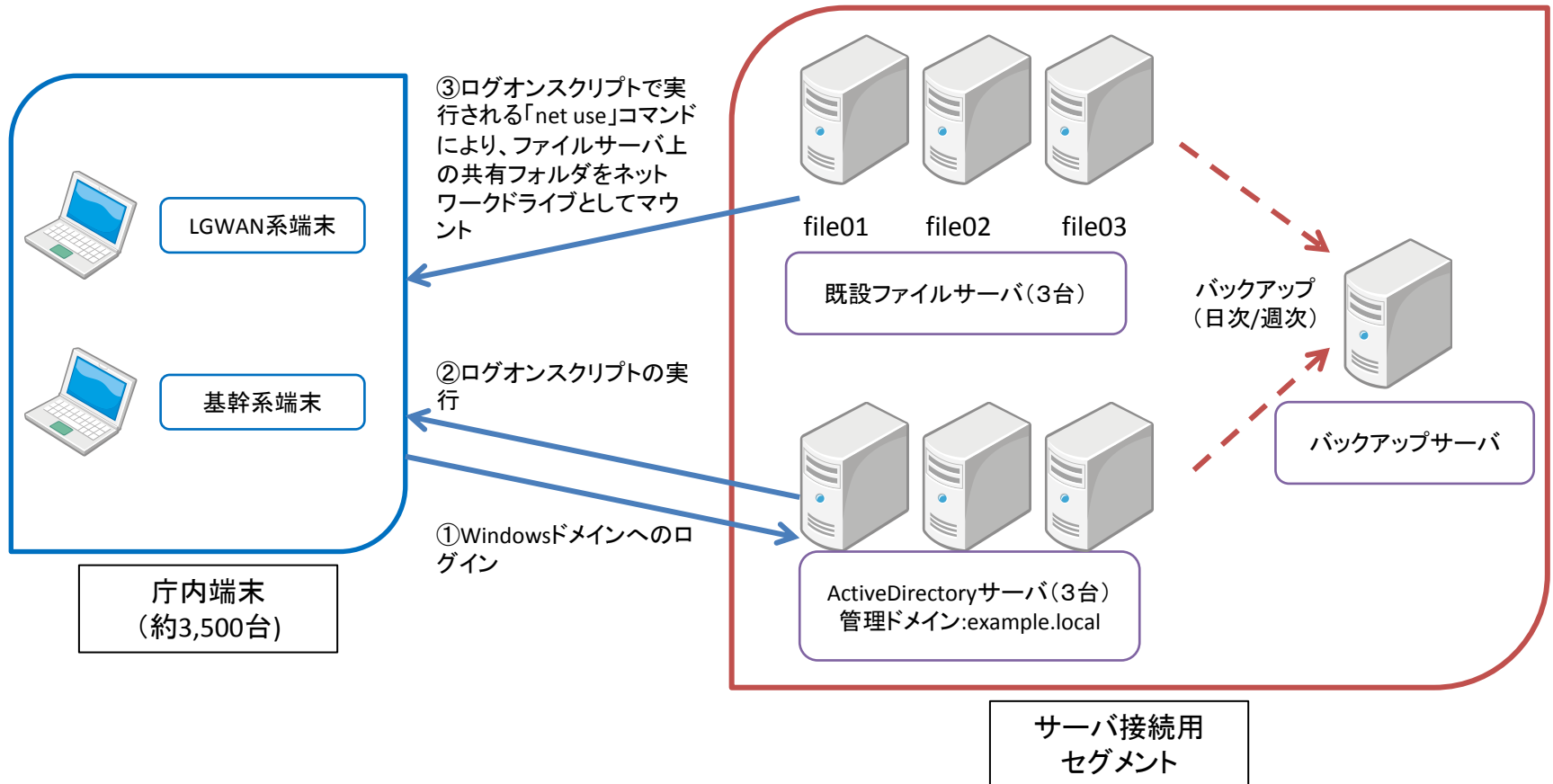
なお、本資料記載の内容よりもより詳細な情報については委託契約締結後、委託業者の要求に応じて開示するものとする。

※3ページ目以降は当市で想定している自動暗号化システムの運用イメージである。

必ずしも本イメージ記載の構成及び運用とする必要はないが、管理運用の容易性、利用者側の操作性、TCOの低減等を考慮し、費用対効果を最大化するような提案を望むものである。

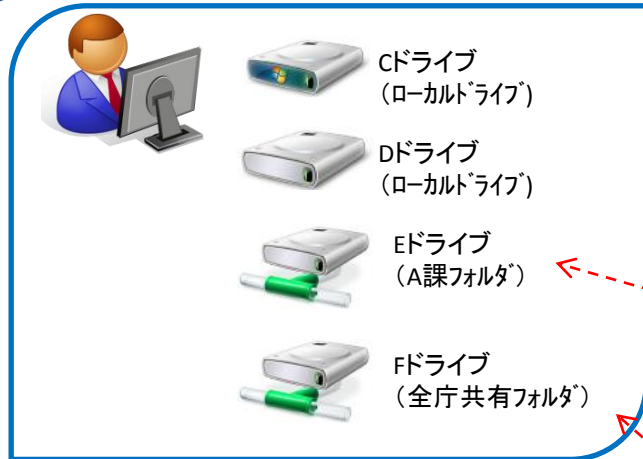
## 長岡市ネットワーク概略図(現状)

本資料ではWindowsドメインを「example.local」、ファイルサーバのホストを「file01～03」と仮定する。

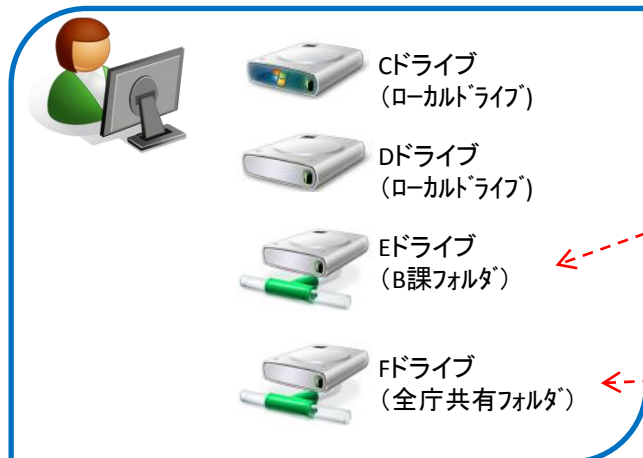


# 庁内ネットワークにおける端末での共有フォルダ利用状況(現状の概略)

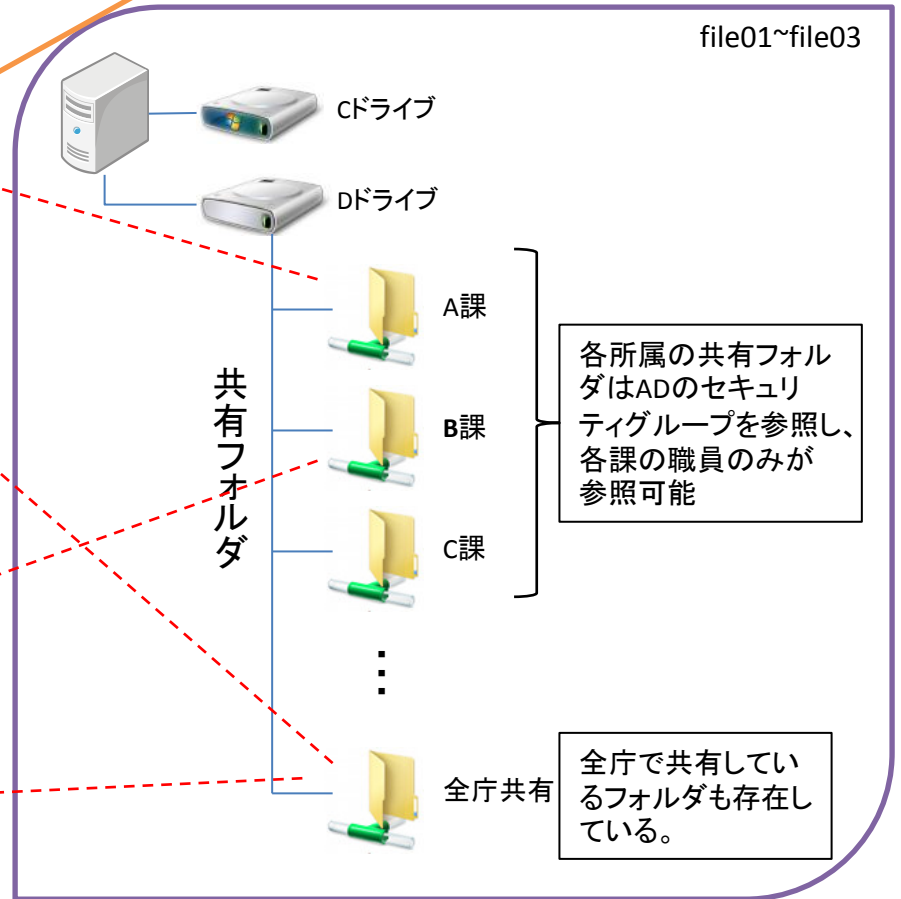
Windowsドメインログオン時に実行されるログオンスクリプトでフォルダを端末上にネットワークドライブとしてマウント



A課職員

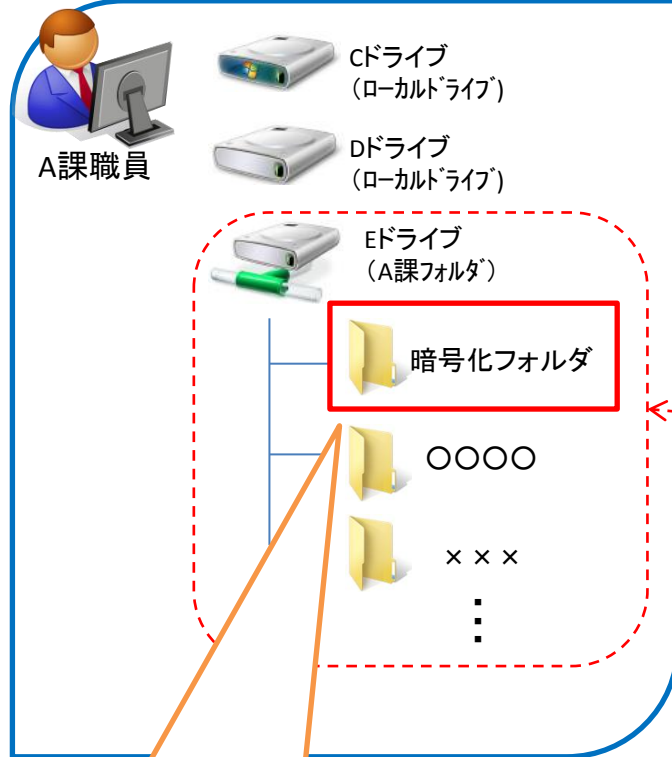


B課職員

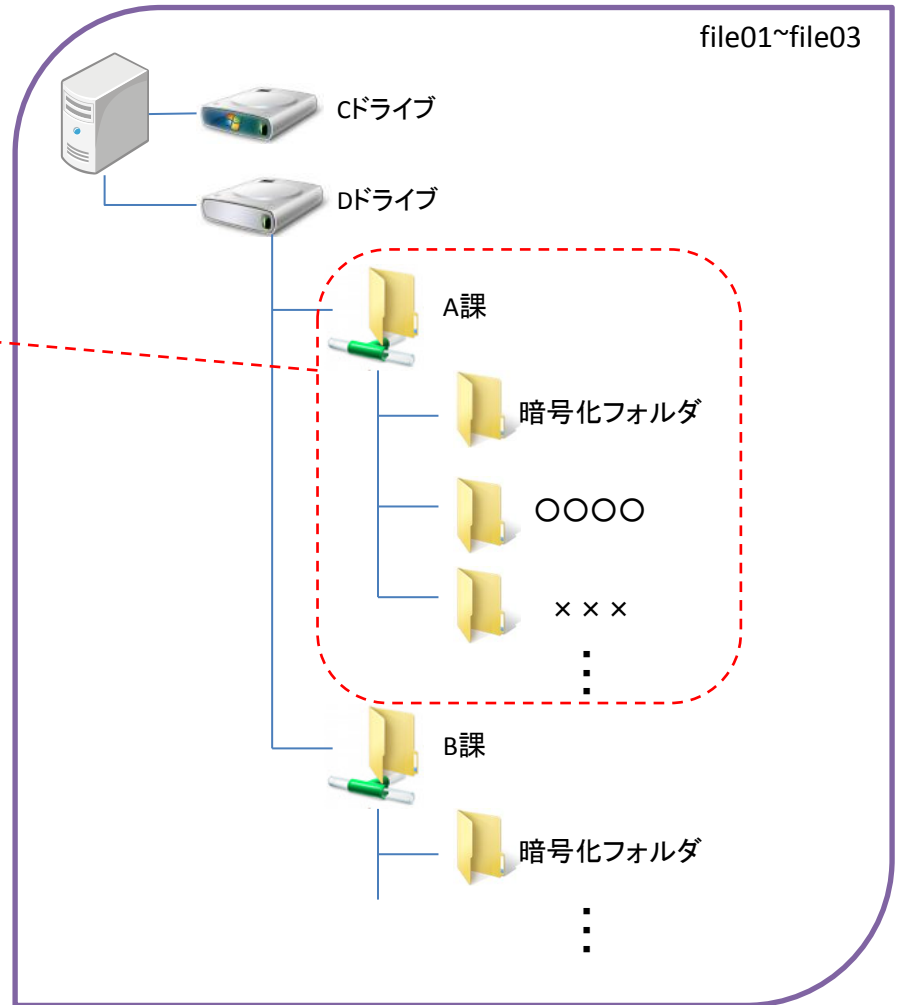


※file01~03は收容している所属やフォルダ名に相違があるが、基本的には同様のフォルダ構成となっている。

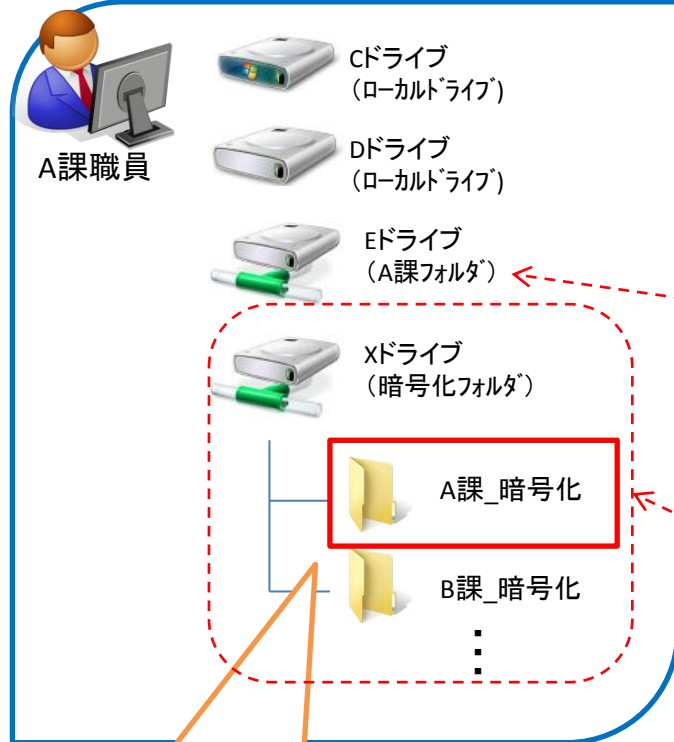
# 自動暗号化フォルダ運用案1（各所属共有フォルダに自動暗号化フォルダを作成する場合）



各所属共有フォルダ内の「暗号化フォルダ」を自動暗号化できるフォルダとして設定し、このフォルダに暗号化したいファイルを移動、コピー、作成等を行った時点で暗号できるようにする。



## 自動暗号化フォルダ運用案2(暗号化用共有ドライブに自動暗号化フォルダを作成する場合)



「暗号化」フォルダを共有ドライブとしてマウントし、各所属向けの自動暗号化フォルダを作成。

このフォルダに暗号化したいファイルを移動、コピー、作成等を行った時点で暗号できるようにする。

なお、「××\_暗号化」フォルダは各所属フォルダと同様に、該当の課のみが参照できることとする。

